

- 堅物のラスと押しかけ護り手・闇主の最初(?)の出会いに注目☆
- 魔性と人間の複雑な関係とは？二つの種族による愛憎劇！

見どころ
Check!

乱華/リーダイル

魔性として生きることを選んだ、ラスの実弟。人の生を選んだ姉を蔑みながらも深く執着し、瞳と心臓を狙っている。

サティン

砂色の髪の捕縛師。世話焼きで快活な美女。ラスより三つ年上で姉のような存在。捕縛師としての腕も第一級。

マンスラム

浮城の城長であり、ラスの養母。優しく穏やかで、芯の強い女性。ラスの母・チェリクとは親友同士だった。

用語解説

紅蓮姫

【ぐれんき】

浮城屈指の破妖刀で意志を持つ。四十年前ぶりに使い手としてラスを選ぶ。わがままで上級魔性の命が好物の大食らい。**魅了眼**【みりようがん】見た者すべてを魅了し、支配する力を持つ瞳。その本質は相手を分析、理解する能力であり、所持する者は稀有。

闇主

ラスの押しかけ護り手。深紅の髪と瞳で、壮絶な美しさを持つ魔性。ラスを深く愛する一方翻弄する、わがままで気まぐれな性格。

ラエスリール(ラス)/朱焰

破妖刀・紅蓮姫の使い手に選ばれた破妖剣士。半人半妖であり、両親譲りの「魅了眼」と、魔性としての名を持つ。感情表現に乏しく生真面目。

シュライン

古王国ガンディアの王女。美しく高潔で自国想い。漆黒の魔性・亜珠に目をつけられ、花嫁にと望まれる。

亜珠

シュラインをさらった高位の魔性。黒衣をまとい、漆黒の城に住む。人間を蔑み、弄ぶことを喜びとする。

漆黒の魔性

選ばれし少女剣士、登場！

あらすじ

古王国ガンディアの王女が、魔性・亜珠にさらわれた。救出を依頼された浮城の長・マンスラムは、破妖刀・紅蓮姫の使い手である破妖剣士・ラエスリール(ラス)を派遣する。護り手がいないせいで、浮城のごく潰しをしていたラスは、初仕事に勇躍する。そんな時、闇主と名乗る魔性に、自分はラスの護り手だと言われ、つきまとわれる。弟の乱華や妖鬼たちの戦いの中、半人半妖であることに葛藤するラスは、ついに亜珠と対峙するが……！

シリーズ
第1作